

日本比較文化学会

2001年12月 No. 23

JACC 比較文化会報

本部事務局：〒036-8231 弘前市稔町13-1 弘前学院大学 英米文学
佐藤研究室 Tel.0172-34-5211 内線 216 satoh@hirogaku-u.ac.jp

全国大会に寄せて

高知大 奥村訓代

「土佐の高知の播磨屋橋で坊さんカンザシ買うを見た、よさこい、よさこい」あるいは「カツオのタタキ」や一本ずり、「月の名所の桂浜」、「牧野植物園」、「闘犬」、「日曜市」、「皿鉢料理」、「ホエール・ウォッチング」、「海洋深層水」、「清流四万十」、「いごっそう・ハチキン」、「山内一豊の妻」、「広末涼子」、「土佐の海関」、「はらたいら」、などなど名所・旧跡・有名人・酒・肴・自由・内助の功に至るまで話題に事欠かない高知から『灼熱の太陽にも似た烈々なラブコール』で皆様をお待ち申し上げております。

2002年6月8日（土）の前後は、是非ご家族おそろいで、少々ゆっくりとした日程でおいでください。

9日には朝から日曜市、午後から四万十川ツアーなども企画しています。

（詳細は大会案内と共に追ってご連絡申し上げます！）

第24回大会案内

時 2002年6月8日（土）

開催校 高知大学人文学部（朝倉キャンパス）

問合先 780-8520 高知市曙町2-5-1

高知大学人文学部奥村研究室

日本比較文化学会中国四国支部

支部長 奥村訓代

電話および Fax：088-844-8205、E-mail：koku@cc.kochi-u.ac.jp

研究発表希望者へ

1. レジュメをワープロなどで、B5 版横書き1枚にまとめて下さい。その際、左右の余白を2センチほど残して下さい。

2. 2002年1月31日必着で上記奥村訓代宛で、郵便書留で送って下さい。

シンポジウム講師の推薦

第24回大会のシンポジウムのテーマは「比較文化：過去、現在そして未来」です。各支部は12月31日までに講師を推薦して下さい。推薦された講師は上記研究発表1および2の要領で、レジュメを奥村先生までお送り下さい。

1979年、弘前学院大学に東北比較文化学会が発足し、四年後に日本比較文化学会に発展した。その後、縦の組織としての支部に対して、国際文化、言語文化、放送文化、生活文化、異文化、日本語・日本文化、社会言語学、広域アジア文化など各学問分野を中心に横の組織として研究部会活動した。支部や研究部会が編集を担当して「比較文化研究」は54号まで発刊されている。

また、1998年には「比較文化学論纂」（開文社出版）と題して学会の研究成果の一部が出版された。因みに、日本学術会議登録番号は10836である。学会の今後の健全な発展を私は期している。

《本部事務局だより》

会員のみなさんは次ぎの要領でお申し込みください。

1. 入会希望者へ

本学会に入会を希望する方は、本部事務局へ「入会申込書」を提出して下さい。折り返し必要書類をお送り致します。入会申込書は本部事務局に備えてあります。

2. 論文掲載希望者へ

学会誌『比較文化研究』は年に4回発行しております。掲載をご希望の方は下記へお問い合わせ下さい。（3月末日締切）

1) 854-0081 諫早市栄田町 1057 長崎ウェスレヤン短期大学南川研究室 日本比較文化学会九州支部、電話 0957-26-1234 (5月末日締切) // 370-0068 高崎市昭和町5-3 新島学園女子短大、日本比較文化学会関東支部 電話 0273-26-1155 (9月末日締切) //

2) 981-3105 仙台市泉区天神沢 2-1-1 東北学院大学教養学部 鈴木瑠璃子研究室 日本比較文化学会南東北支部 電話 022-773-3337

E-mail: rsuzuki@izcc.tohoku-gakuin.ac.jp (12月末日締切、欧文原稿のみ) 信幸
6/0-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1-3, 同志社大学言語文化教育研究センター山内研究室、
日本比較文化学会関西支部、電話 0774-65-7070 E-mail: nyamauch@mail.doshisha.ac.jp

3. 近況報告、支部活動報告、研究部会報告、新刊紹介などを

『比較文化会報』に投稿希望の方は次の要領でご応募下さい。

- (1) 近況報告 (130字以内)
- (2) 新刊書、編註書の紹介 (130字以内)
- (3) エッセイ投稿 (500字以内)
- (4) 支部報告、研究部会報告 (1000字以内)

投稿締切日 毎年6月30日(第1回締切日) および毎年12月25日(第2回締切日)

投稿先 日本比較文化学会本部事務局 〒036-8577 弘前市稔町 13-1 弘前学院大学文学部 佐藤研究室 日本比較文化学会 電話 0172-34-5211 (代) Email: sato@hiro-gaku-u.ac.jp

学会費値上げについて

2002年4月1日から学会費(一般会員および新入会員)が年額5,000円になりますので、お間違いのないようお願い致します。

値上げの理由は主として学会誌を全会員宛に、最低年4回送付、会報は年2回送付することに伴う財源確保のためです。賛助会費につきましてはこれまでと同額の1口10,000円(以

上です。

会費未納の場合は未納分を含めて納めてくださるようお願い致します。5年間に渡り会費を滞納しますと、会員名簿から抹消される恐れがありますので、どうぞご留意下さい。

会員新刊紹介

会員から次ぎの翻訳書が送られてまいりましたので、お知らせいたします。

ジョウゼフ・コンラッド著 岩清水由美子訳『闇の奥』近代文芸社（2001年7月）

J. G. ロックハート著 佐藤猛郎 内田市五郎 佐藤 豊 原田祐貴 竹内淳夫訳『ウォルター・スコット伝』彩流社（2001年5月）

受贈図書

松島如戒編『私にとっての戦争 そして戦後五十年』もやいの会（1996年1月）

『日本教科教育学会誌』第22巻第4号（2000年3月）、第23巻第1号（2000年6月）、第2号（2000年9月）、第3号（2000年12月）、第4号（2001年3月）、第24巻第1号（2001年6月）、第2号（2001年9月）

International Journal of Curriculum Development and Practice, 1, No. 1 (March 1999).

International Journal of Curriculum Development and Practice, 2, No. 1 (March 2000).

2002年春季韓国日本文化学会大会のお知らせ

来年の春の大会についてご案内いたしますので、奮ってご参加下さい。

大会名：韓国日本文化学会 2002年度春季国際学術研究発表会

日にち： 4月26日(金)～27日(土)

場所： 韓南大学校(大田市所在) ソウルから列車かバスで2時間、仁川国際空港からリムジンバス運行

発表申請：2002年3月20日まで、

Kim Tae Do 先生宛て、メールアドレスは：tdkim@hanseo.ac.kr

JACC（日本比較文化学会）からも大勢ご参加願います。

2001年秋季韓国日本文化学会国際学術発表会で研究発表 報告 町屋 昌明

10月26,27日に建陽大学(Konyang University)で上記の学術大会で成沢氏と共に協同発表をしました。私は初めての韓国訪問でした。国際学術大会にふさわしく大会の冒頭で、日本大使館文化広報院長からと日本表現学会及び日本比較文化学会会長(代読・成沢)から祝辞がありました。42の研究発表とシポウジウムがあり日本研究者の数と層の厚さに圧倒されました。

幸い、私たちの研究発表は第一次審査に合格し、目下第二次審査を受けています。学会の方々に大歓迎を受け増したことを記して感謝に返させていただきます。来年も比較文化学会からどなたか研究発表されること祈念します。

中国・四国支部だより

1) 中国・四国支部は、前任者の畠中先生の後を受け支部長に奥村(高知大)、副支部長に山下(香川大)が就任いたしました。今後とも支部会員の皆さまのみならず学会全員の皆様のご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

2) 郵便局 口座番号 01690-0-31040

口座名称 日本比較文化学会中国・四国支部（代表 高知大学 奥村訓代

3) 学会誌編纂の件既にご存知のとおり、日本語・日本文化研究部会と中国・四国支部で「日本語・日本文化特集号」を来春発行予定です。それに伴い、可能であれば当支部で「日本語・日本文化特集」と組むという条件で学会誌のローテーションに加わることができればと考えております。つきましては、支部に関係なく「日本語・日本文化」編集委員を募集しています。興味をお持ちの方は是非お知らせください。

連絡先：088-844-8205（F兼）あるいは koku@cc.kochi-u.ac.jp 奥村（高知大）まで

4) 全国大会誘致

これも既にニュースレターでご存知のことと思いますが、来年度全国大会を中国・四国支部でお受けすることになっています。特に支部メンバーの方の日ごろの研究・発表の場となることを期待しています。奮ってご参加ください。

《各支部事務局》

- 1) 北東北支部 〒036-8560 弘前市文京町 1 弘前大学人文学部 佐藤憲和研究室
電話 0172-39-3958 (直)、FAX 0172-34-6974 (代)e-mail: norikazu@hirosaki-u.ac.jp
- 2) 南東北支部 981-3105 仙台市泉区天神沢2-1-1 東北学院大学教養学部 言語文化専攻 鈴木瑠璃子研究室 電話 022-773-3337 (直)FAX 022-375-5050 (代)
e-mail: rsuzuki@izcc.tohoku-gakuin.ac.jp
- 3) 関東支部 〒377-0013 群馬県渋川市辰巳町1697-10 特定非営利活動法人国際比較文化研究所内 太田敬雄 支部長 電話 0279-24-2256 FAX 0279-60-6755
e-mail: mthc@mail.wind.ne.jp
- 4) 関西支部 602-0033 京都市上京区今出川通烏丸東入 同志社大学文学部英米文学科 石黒昭博研究室、電話 075-251-4026 (直)、FAX 075-251-3059 (代)
- 5) 中国四国支部 780-8520 高知市曙町2-5-1 高知大学人文学部 奥村訓代研究室
電話 088-844-8205 (直)、FAX 088-844-8205 (直)e-mail: koku@cc.kochi-u.ac.jp
- 6) 九州支部 854-0081 諫早市栄田町 1057 長崎ウェスレヤン短期大学 南川啓一研究室、電話 0957-26-1234 (代、FAX 0957-26-2063 (代) e-mail: minamikw@nwjc.ac.jp (直)
- 7) 広域アジア支部 812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学留学生 センター 鹿島英一研究室 電話 092-642-2146 (直)、FAX 092-642-2146 (直)

第25回大会案内

第25回大会は2003年6月、関西支部主幹、京都橘女子大学で開催される予定です。

編集後記

来年こそは比較文化研究の発展が世界の平和構築に真に寄与することを祈念します。会員諸氏のご健康と研究の成果を期待して新しい歳に望みます。 (成沢 義雄)

本部事務局

〒036-8231 弘前市稔町13-1
弘前学院大学英米文学 佐藤幸正研究室
Tel. 0172-34-5211 内線216

発行者 芳賀 馨
編集者 成沢 義雄